

第210回 IBB セミナー

フレキシブル電子デバイスの 医療応用の可能性



関野 正樹 先生

東京大学 工学系研究科 電気系工学専攻 准教授

2018.7.25 (水)
13:00~14:30

東京医科歯科大学
生体材料工学研究所
22号館 2F 第1会議室



ウェアラブル生体センサは、IoTやAIと融合しながら急速に進歩しており、広範な医療応用の可能性が期待されている。装着者に不快感を与えずに、体の様々な部位へ連続的に装着するためには、デバイスの薄さと柔らかさが必要である。有機半導体等の材料も利用した、シート型生体計測デバイスの開発と、その利点、さらに臨床応用の事例として、移植された組織を対象とした血流のモニタリング等について、研究動向と具体的事例を紹介する。

主催: 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

問合せ: バイオメカニクス分野 川嶋健嗣

アクセス: <http://www.tmd.ac.jp/i-mde/www/access/index.html>

